

## 学校長 式辞

厳しかった冬が終わり、花々の蕾が小さな春の訪れを告げています。

この良き日に、大阪府教育センター 高等学校教育推進室 主任指導主事・森本 克己様をはじめ、多くの来賓の皆様にご臨席賜り、ここに大阪府立りんくう翔南高等学校第九回卒業証書授与式を挙げていきますことを、心から御礼申し上げます。

本日ここに、209名の卒業生を送り出すことができました。これもひとえに、日頃より皆様に暖かいご支援をいただいているおかげでございます。高いところからではございますが、重ねて御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様は皆様の慈しみを一身に受け、このように立派に成長されました。子ども達の記憶にない幼い時、夜中に高熱を出し病院を探しまわり、寝ずに看病されたのではないのでしょうか。子ども達がつらい時、一緒に涙を流され、子ども達が嬉しい時にも歓喜の涙と一緒に流されたのではないのでしょうか。他、これまでに語り尽くせぬ多くの喜びと多くのご心配、ご苦労があったことと思います。ここに実を結びお子様が高校教育を終えられたことに対し敬意と感謝の気持ちを込め、お祝いの言葉を申し上げたいと存じます。

お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

また、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。お子様の卒業後も引き続き、りんくう翔南高等学校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業式は、過ぎ去った学校生活を振り返り、出会った様々な人々に感謝するとともに、未来に対して思いを新たに作る時でもあります。本校においては、木々の芽の出る春に始まり、若さみなぎる夏に汗し、葉の散る秋に愁い、寒い風吹く冬の厳しさに耐え、みなさんは多くの事を学んできました。今日、友や恩師との別れを経験することになりますが、卒業という別れは寂しさと共に、一つの業を全うした充実感に包まれます。毎日の授業、修学旅行、体育祭、学習発表会、国際交流、翔南祭、クラブ活動、友とのふれあい、その中で頑張ったこと、辛くて涙したことなど、これらの多くの学び、多くの人々との出会いがみなさんの生きる力となり、長い人生を歩む土台が完成したのです。

皆さんが歩み出すのはどのような社会でしょうか。グローバル化や情報通信技術の進展と共に、少子高齢化、環境問題など、高度化・複雑化する諸問題も山積しています。また、AIや自動走行車などのロボティクス、キャッシュレス決済などが当たり前のように存在し、「society5.0」が間近に迫っていることを肌で感じるようになりました。先端技術を効果的に活用した、より豊かな生き方を模索しながら人生100年時代を生きていきます。同時に国際化・多様化も著しく進展しています。昨年度開催されたラグビーワールドカップにおける日本代表チームが証明しているのではないのでしょうか。よって、多様な文化や個性を認め、互いに尊重し合い、他者と協働しながら課題を発見し、克服に向けそれぞれの立場で努力できる新たな価値観を創造しなければなりません。同時に、自国を語れるよう自国の伝統文化を振り返ることが大切です。みなさんは卒業後、こうした状況の中を生きていくことになります。

このような社会に挑むみなさんに三つのメッセージをお送りします。

一つ目は【生涯学び続けてください】

課題を解決するためには、自分の持っている知識を総動員します。知識が不足していると解決にたど

りつくことができません。年齢をかさねると考えが深まるのは、間違いなく知識量が増えているからです。出会う人々、書物、TVやインターネット等のメディアなど、そのツールはたくさんあります。また考えは頭の中に留め置くだけではいけません。アウトプットすることで考えが修正されたり、より確かなものになります。まず知識を得て、それを総動員して考えをまとめ、自分なりに発信し、他者からの反応を得る。生涯これを繰り返し、幾つになっても魅力ある人でいてください。

### 二つ目は【仕事の流儀について】

専門学校や大学などで新たな学校生活を始める人も、いずれは実社会に入っていきます。これまでは、問題も答えも用意されていましたが、これからは、答えのない問題と向き合うことが多くなり、あらゆることに自己責任が求められます。これが社会人になるということです。「時間がない」とか「条件がよければ、もっと良い仕事ができるのに」などと言ってははいけません。「大人の仕事」とは、不十分な条件で不満が残ったり、時には穴があったら入りたいくらいの気持ちで仕事を終えていることも少なくありません。少しくらい難しい状況であっても不平や不満を語らず、与えられた環境の中でベストを尽くし合格点の結果を引き出す。これが大人の仕事です。

### 三つ目は【美しく生きてください】

努力する者は希望を語るが、そうでない者は不平・不満を語り、言い訳を準備します。美しいとは単に容貌や姿、形が美しいという意味ではありません。美しいとは、不平や不満を語らず、未来や希望を語り、挑戦する心を忘れず、一生懸命に正しく生きる姿勢です。懸命に取り組む姿勢は美しく、そこに多くの人は共感を覚え、評価します。

最後になりますが、二十一世紀を生き二十二世紀をも創造するみなさんへ、ドイツの詩人の作品を紹介させていただきます。

心に太陽をもて

あらしがふこうと、吹雪がこようと

天には黒雲 地に争いが絶えずとも

いつも心に太陽をもて

唇に歌をもて

軽く ほがらかに

自分の努め 自分の暮らしに、よしや苦勞が絶えなかりとうと

いつも唇に歌をもて

皆さんの前途が洋々たるものであることを信じ、将来のご多幸を心から祈念して、卒業式の式辞いたします。

令和二年二月二十八日

大阪府立りんくう翔南高等学校長

藤田 繁也